

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	黒川地区(長尾集落)	令和3年3月31日	/

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	17.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	17.3ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	2.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考) アンケート調査により、現耕作者は、10年後も引き続き耕作(後継者の耕作を含む)する意向を確認できている。	

2 対象地区の課題

○耕作条件の悪い農地がある。 ○中心経営体(認定農業者)では、これ以上の農地の集約を図ることができないため、集落内で担い手の確保を図る取組みが必要である。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

【集落内で担い手を育成・確保】 現在、中心経営体が4名いるが、主な経営が施設園芸であるため、これ以上の農地の集約は図れない。一方で、10年後も引き続き後継者を中心とした担い手の確保が出来ている。そのため、集落内で円滑な世代交代を図ることで、担い手を確保し、耕作を継続していく。もし、担い手が不足する場合は、集落内の機械利用組合などを中心に基幹作業を担うことで対応していく。
--

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 4	胡瓜・水稻等	5.3ha	胡瓜・水稻等	5.3ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【基盤整備等への取組方針】

農業の生産性向上や農地集積・集約化を図るため、耕作条件改善事業を活用した暗渠配水工事等の基盤整備に取り組む。

【農地中間管理機構の活用方針】

黒川東部地区を重点実施区域とし、耕作条件改善事業の実施に合わせ、原則として農地中間管理機構を活用し、担い手への集積・集約を図る。

【耕作継続が困難な農用地の林地化】

耕作・維持管理が困難な農用地については、周辺農地への影響を考慮しつつ、林地化を進める。

【鳥獣被害防止対策の実施】

農地に接した林地の下の草刈または雑木伐採等を行うことで、鳥獣の進入を防止する。

【体制整備のための活動】

令和3年度より新たに多面的機能支払制度に取組み、水路・農道等を計画的に補修・改良するなど、将来、農業生産活動を継続できるような体制整備を行う。